

中東情勢の緊迫化に伴う上下水道事業への影響について

1. 中東情勢に関する危機対策連絡会議の開催

ホルムズ海峡の封鎖によって中東から日本への原油調達が困難となったことを受け、本市の上下水道事業に及ぼす影響等について情報の収集・共有を図るとともに、必要な対策等について検討するため、上下水道事業管理者の下、所属長以上全員で構成する会議を設置（事務局：危機対策課）

初回：4月21日 第2回：5月11日 第3回：6月1日 第4回：7月2日

第5回：7月30日

2. 現時点で見込まれる影響

- (1) 上下水道施設の運転に必要な資材及び薬品等は、一定程度の数量を確保済（または確保の見込み）であるため、当面の施設稼働には支障がない見込み。
- (2) ただし、今後の情勢によっては、製品の供給停止や納期の遅れ等が見込まれることから、在庫量の上積みが必要な状況。
- (3) ナフサ由来のポリエチレン管や塩化ビニル管、次亜塩素酸ソーダなどの資材や薬品等の価格が急上昇しており、経営上のマイナス要因となりつつある。

<価格上昇による影響額>

①水道事業

- ・3条予算(収益的収支) 約10,000千円
- ・4条予算(資本的収支) 約62,000千円

②公共下水道事業

- ・3条予算(収益的収支) 約10,000千円
- ・4条予算(資本的収支) 約52,000千円

3. 当面の対策について

- (1) 3条予算(収益的収支)に計上している固定資産除却費や修繕費については、緊急性が高いものを除き当面の執行を留保する。
- (2) 4条予算(資本的収支)に計上している建設改良費(管路の改築や耐震化などの投資的経費)については、従来と同様、早期発注(上半期目標80%)に努めるとともに、発注済み工事においては価格変動に対応する単品スライド条項の適用や工期の延長などに適切に対処する。

<参考1>「単品スライド」について

「単品スライド」とは工期内に主要な工事材料の価格が著しく上昇し、請負代金額が不適当となったときに、工事受注者が請負代金の変更を請求できる制度

<参考2> 資材・薬品等価格上昇による影響額（令和8年7月10日現在）

●水道事業

カテゴリ		影響品目	用途	影響見込額 (単位：千円/年)		備考
				3条予算	4条予算	
1	資材	ポリエチレン管 塩化ビニル管	管路の更新	9,140	3,040	単価30%上昇
2		ハイポリ管			3,700	単価30%上昇
3		アスファルト合材	道路舗装	1,000	54,800	単価28%上昇
合 計				10,140	61,540	

●公共下水道事業

カテゴリ		影響品目	用途	影響見込額 (単位：千円/年)		備考
				3条予算	4条予算	
1	薬品	高分子凝集剤	汚泥の脱水	5,845		単価30%上昇
2		次亜塩素酸ソーダ	放流水の消毒	3,697		単価30%上昇
3		オイル・グリス	機器の潤滑剤等	285		単価30%上昇
4	資材	塩化ビニル管	管渠の更新		33,400	単価43%上昇
5		ポリエステル フェルト	管渠の更生		1,400	単価20%上昇
6		アスファルト合材	道路舗装		17,000	単価28%上昇
合 計				9,827	51,800	

<参考3> 上下水道資材等の影響品目の価格上昇の推移（令和8年7月10日現在）

（※単価上昇率は中東情勢の影響前を100として数値化）

